

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VO1.17 —

— ごあいさつ —

院長
遠藤 秀彦



日頃より大変お世話になっていることに対し、感謝申し上げます。

東日本大震災津波から5年が過ぎましたが、今年4月には熊本地震が発災し日本列島は地震列島であることを再認識させられました。世界的にはイスラム国が無慈悲な殺戮を繰り返し、また多くの国で戦争・内乱が繰り返されています。先日は平和といわれるわが国でも障害者施設入所者の大量殺人が行われるなど社会秩序は何処に行ってしまったのでしょうか。

さて、超高齢社会への対応策として「地域医療構想」の策定が全国で進められており、岩手県では本年3月に策定されました。これは地域ごとに将来の人口動態・医療介護需要を推計し医療介護提供体制の将来設計をしようというものです。報告書を見ると岩手中部圏域では超急性期・急性期病床が多く回復期病床が不足するという推計が出されており、今後過不足ない医療提供体制をどのように構築するか協議されることになっています。当地域の病診・病病・医科歯科・病薬連携は他地域に比べて進んでいると言われているのですが、今後もこれまで培った連携を住民も巻き込んで発展させることが大切です。当院としても、これまで以上に連携を密にし、シームレスな患者紹介、情報共有ができるように力を注ぎたいと思っています。

「harmony」をお読みいただいた皆様には、医療連携に関してご忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。

ちゅうぶ 日和

第4回

「若草ポロシャツ」の巻

このコーナーでは、中部病院内のいつもはなんとなく見過ごしている「こんなところがあったんだあ」をピックアップして紹介します。

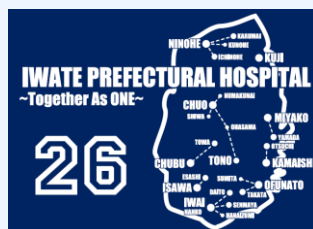


Photo No.4 【なまえ】「若草ポロシャツ」

【所在地】1階を中心に院内各所で目撃可

涼やかな真夏のワークスタイル「クールビズ」の取り組みのうちのひとつとして、県立病院では毎年6～9月の間、事務職員は「若草ポロシャツ」を着用しています。東日本大震災をきっかけに製作され、購入代金の一部は被災地への義捐金にあてられています。年齢や役職に関係なく、各個人の好みの色のポロシャツを着用（写真はほんの一例）。あなたは何種類見つけられますか？月曜日はネイビー、金曜日はショッキングピンクの目撃率が高いようです…。



緩和ケア医療従事者研修会

平成 28 年 7 月 2 日（土）・3 日（日）

「平成 28 年度岩手県中部地域緩和ケア医療従事者研修会」が開催されました。

「緩和ケア医療従事者研修会」は、がん患者と家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持を目的として毎年開催されています。

研修内容は、厚生労働省が示す開催指針に準拠したもので、疼痛緩和、コミュニケーション技術、在宅緩和ケア等の講義、ワークショップ等を行いました。

今年度の受講者は 31 名で、内訳は、医師 20 名（うち研修医 11 名）、看護師 5 名、薬剤師 4 名、理学療法士 2 名でした。地域の医療機関、調剤薬局、訪問看護ステーションのみなさまにも多数御参加頂き、中部地域の緩和ケアに対する意識の高さがうかがえる充実した研修会となりました。



災害拠点病院



院内

災害対応訓練

平成 28 年 7 月 23 日（土）

大規模災害発生時における病院内での初動活動（本部体制の確立・診療体制の確立等）を円滑に行うことを目的に、災害対応訓練を実施しました。



訓練は、北上市及び花巻市において震度 7 の大地震が発生し、多数の傷病者が病院に押し寄せるという想定。院内放送による地震発生の合図の後、病院長から災害対策本部の設置及び各部署の被害情報収集の指示が出され、各部署からの被害情報報告をもとにした病院全体の被害状況の評価、多数の傷病者来院に備えた診療体制の準備（トリアージエリア開設の準備）が速やかに行われました。

トリアージエリアでは、医師・看護師 2 人 1 組によるトリアージの実施と事務職員による患者情報の管理が行われ、重症度別に赤・黄・緑のエリアに搬送し処置。災害対策本部と連絡を取り合い、入院や帰宅、あるいは院外への広域搬送等の措置を取るといった一連の流れを、北上消防署救急隊員とも連携を図りながら確認しました。

また、今回は患者情報の管理について、院内のネットワークシステムを活用することにより、トリアージエリアから離れた場所にある災害対策本部でも、正確かつ迅速な情報共有をすることができました。

いつ起こるか分からない災害に備え、今後も継続的に訓練を実施してまいります。



認知症市民公開講座

高齢化社会が進む中、認知症患者さんの割合が増加してきております。

今年度看護科では主任会を中心に、認知症患者支援に関する最新の知識と技術を提供し、認知症患者さんの生活の質を上げ、安全な入院生活が送れるよう認知症高齢者看護の強化に取り組んでいます。

中部病院初の取り組みとして、地域の皆様とともに認知症を理解していくため、認知症市民公開講座を開催することとなりました。どなたでも参加できます。多数のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成 28 年 9 月 15 日（木）
16:30～18:30

【場 所】県立中部病院 1 階総合受付前

【講座内容】

1.認知症予防体操

2.講演

「認知症の種類・病態生理・症状・

治療法について」

講師 中部病院副院長兼第 1 神経内科長 田村乾一

3.看護相談

4.高齢者擬似体験



こちら臨床研修病院



初期研修開始から5か月。研修医は日々どんなことを感じているのでしょうか？1 年次研修医を代表して幕内大貴先生に聞きました。



毎日が新しいことの連続で、学ぶことや失敗して反省することがたくさんあり、忙しいと感じることもありますが、とても新鮮で充実した日々です。学生の時に学んだことと医療の現場がやはり全く違うと感じることもあります。当直中に救急外来に来院する患者さんは教科書のように「バットで頭を殴られたような人生で最大の頭痛」とはもちろん言ってはくれませんが、自分で質問を考えて問診し、疑った疾患に基づいて診察し、必要と思われる血液検査や画像検査を行って鑑別診断をしていくことは、先輩の先生方は当たり前に行っていますが、不慣れな私にとっては不安でいっぱいです。教科書で学んだことはもちろん大事だとは思いますが、実際に自分が診察し、経験することに勝るものはないと感じています。立派な医師に少しでも近づけるよう日々精進していきたいと思っています。

こんにちは
どうぞよろしく
**保安
専門員**

院内の安全と保安対策を目的として「保安専門員」が今年4月より活動しています



《プロフィール》 名前 佐藤淑夫（さとうとしお）
警察官OB。県立中央病院での保安員経験を経て
当院勤務。趣味のバスケットボールは岩手マスタ
ーズ現役選手で、全国大会をめざして練習中！



お食事処ちゅうぶ

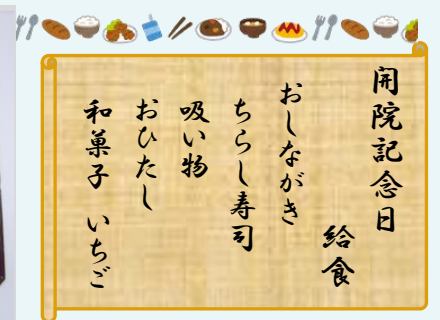
入院した人だけが味わえる

入院中のお楽しみ「給食」

どんなメニューがあるの？

記念すべき第 1 号は 4 月 1 日の

開院記念日給食です



ボランティア活動中！ 第3回

花壇ボランティアの巻

当院では 7 つの分野でボランティア活動が行われています。このコーナーでは号替わりで各ボランティアグループをご紹介します。

受付・案内 / 花壇 / 読み聞かせ

生け花 / がん情報サロン「虹」

おでんせの会菜園 / 緩和ケア病棟

正面玄関前ロータリーの花壇では今、6月に植えた真っ赤なサルビア、薄紫のアゲラタム、黄色いマリーゴールドが暑さに負けず咲き誇っています。病院敷地内の花壇整備をしているのは花壇ボランティアの皆さん。今は一年のうち一番の繁忙期。水やりとこまめな草取りのおかげで、手入れの行き届いた素敵な花壇になっています。毎年、花いっぱい運動に参加し、職場花壇の部で優良賞を受賞するなど好成績を収めています。北上市の花いっぱい運動は、昭和 45 年の岩手国体をきっかけに始まったものだそうです。希望郷いわて国体・いわて大会開催年である今年は、例年に増してあちらこちらでおもてなしの花壇やプランターが見受けられますね。中部病院にお立ち寄りの際は、当院のおもてなし、ロータリーの花壇を是非ご覧ください。



岩手県立中部病院 理念と基本方針

理 念 私たちは、生命の尊厳と人間愛の精神に則って、地域の人々の生命と健康を守り、地域医療の充実・発展に貢献します。

- 基本方針**
1. 安全・安心な医療を提供するために、患者さんとの相互協力による患者参加型のチーム医療を推進します。
 2. 質の高い医療を提供するために、がん治療や救急医療などの医療機能を充実・強化します。
 3. 中部圏域の基幹病院としての機能を果たすために、地域の医療機関、介護・福祉施設、行政との連携を密にします。
 4. 臨床研修や生涯教育体制の充実を図り、医療スタッフの育成に努めます。
 5. 職員が自分の仕事に誇りを持てるようにするために、働き甲斐のある職場をつくります。
 6. 上記5項目を実践するために、健全な病院経営を行います。



地域医療福祉連携室からのお願い

◇当院は予約制です◇ 基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともありますので、お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前予約のお申込をいただくようご協力をお願いいたします。

岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室

〒024-8507 岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地

TEL 0197-71-1511 FAX 0197-71-1881 (地域連携室専用)

URL <http://www.chubu-hp.com/> (平成 28 年 8 月)

